



Weekly Report



クラブ・テーマ 「時流にあわせた変化と発展」

会長 小田光司 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 点鐘 12:30～13:30
幹事 田中芳明 事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
会長E 小林利郎 http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小田光司年度 第24回 通算2595例会 平成29年1月26日

会長の時間 第54代会長 小田光司

本日は100周年を迎えたロータリー財団についての卓話ということで、地区ロータリー財団補助金運営委員会の三枝様にお越しいただいております。お忙しいところまことにありがとうございます。

本当は昨年11月にお話をさせていただき、雪のため急に例会をお休みにさせていただきましたが、今回に日を改めて頂いた次第です。その節はこちらの急な都合により大変ご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げますとともに、本日より心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

ロータリー財団というのはポリオの撲滅や平和の推進などの活動をなさっているところだと思いますが、貧困や飢餓などの問題にも多大なる貢献をしています。

ロータリークラブの会員でいると、ご寄付のお願いを様々なところで耳にすることだと思います。しかしながら、お願いされた寄付に対して何のこともまったくわからなければ、お金を出す気にはならないと思います。ですからこの機会に知りましょう。ロータリーの会員であることと寄付をする意義を。自分がロータリークラブに関わったおかげで、少しでも社会に貢献していると胸を張って思えるようになる良い機会だと思います。

お願いされている金額に満たない場合の寄付のやり方もあると伺ったこともございます。自分の出来る範囲で、無理のない形で構わないので、社会に貢献するという気持ちを忘れずに持ち続けていて欲しいと思います。

きっと今日の卓話を聞いた後には、寄付したくて仕方なくなる会員が沢山出てくるような素晴らしいお話が伺えると思いますので、しっかり勉強させていただきます。

本日もよろしく願いいたします。



2. 地区より 2017-18 地区ロータリー財団補助金管理セミナーのご案内が来ています。
日時 2月24日 13:00～15:50
場所 市民会館おのみや
3. 2017 アトランタ国際大会 日本人親善朝食会についてのご案内が届いています。
日時 6月11日 7:00～9:00
場所 ハイアットリージェンシーアトランタ
4. 大宮東RC様より2月の例会予定表が届いています。以上4点です。

委員会報告

支援・広報・学友委員長 鈴木 隆 「ロータリーの友1月号」

○「特集」守り、伝える＜P7～13＞

日本各地のロータリーが取り組んでいる伝統芸能の復活や保存活動の紹介です。

歌舞伎や神楽、雅楽から地域カルタそして郷土玩具までそれぞれの地域での社会奉仕活動です。

○「職業奉仕」はロータリーの根幹か？＜P14～17＞

1月は職業奉仕月間です。日本は職業奉仕を大切にしていると言われていますが、世界のロータリーとの違いは明らかです。本田氏の論考は職業倫理と奉仕についてももう一度考えるのによい問いかけだと思います。

○「世界に売れる Made in Japan」＜P4～8＞

2620 地区のIM記念講演の要旨です。日本の製品やサービスは世界的に評価が高いですが、それを商品として世界の人々（特に需要の多い中国）へ売り込むには、決済の方法や配送など具体的な取り組みがないとお客様のニーズに合わないばかりか発展していかないという指摘と具体的なやり方を示しています。このようなさらなる努力で Made in Japan はもっと伸びるだろうという明るい話題です。

○ロータリーの奉仕活動＜P32＞

ロータリークラブの活動の哲学的および実際的な規準である5大奉仕について。新会員の方には特にご覧いただきたいページです。

○ロータリーネットワーク

「八潮市中学生音楽フェス開催」＜P23＞

クラブ創立5周年とロータリー財団100周年を記念して総勢600人が演奏する音楽フェスを開催。（八潮みらいRC）



幹事報告

幹事 田中芳明

1. 地区より 2017-18 会長エレクト研修セミナー（PETS）のご案内が来ています。

日時 3月9日 10:00～16:45

3月10日 12:30～19:00

場所 ラフレさいたま



卓話

『ロータリー財団と地区補助金』 第2770地区補助金運営委員会

委員長 三枝和男 様



寄付の御礼

- ・メジャードナー故金子雅英様他、多くのポールハリスフェローの皆様への敬意。
- ・地区補助金ご利用の御礼。少年野球教室の開催。
- ・R財団100周年記念横断幕ご利用の御礼。

※参考 100%ポールハリス・フェロー・クラブ（全会員がPHF）のクラブ名が刻まれた盾がRI世界本部に恒久的に展示されます。

ロータリー財団の使命

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

地区補助金の特徴

・年に一度、一括で支給する補助金で、クラブと地区のプロジェクトに活用。地区補助金運営委員会はクラブのプロジェクトのお手伝いを担っております。

- ・地元または海外での活動
- ・制約が少なく、地区が独自に資金の配分を決定。
- ・比較的小規模な活動やプロジェクトに使用。

※参考 DDFは地区補助金とグローバル補助金他、に分割され、地区補助金と同様にクラブと地区のプロジェクトに活用できる。

補助金利用のための二つの条件

- ・補助金管理セミナーへの参加。会長エレクト又はクラブが指定した代表者、加えて次年度幹事と次年度ロータリー財団委員長の出席を要請。
- ・クラブの覚書書（MOU）に同意する事。事業実施年度の会長と会長エレクトの署名。今年度の場合は小田会長と小林会長エレクトの自署が記入されています。

申請書・覚書（MOU）

- ・申請書は電子メールにて提出。
- ・MOUは自署で地区事務所へ原本を郵送しなければならない。

地区補助金（91,800\$）の配分は、1,400\$×53クラブ＋800\$×22クラブです。

プロジェクトの実施・最終報告書

- ・8月以降翌年3月までの間に実施。
- ・原則プロジェクト終了後1カ月以内に以下を提出。
 - ① 最終報告書
 - ② 領収書
 - ③ 銀行入出金明細
 - ④ 写真5～10枚

以上4点をメールで提出すること。

手続きの流れ

- ⑩ 12月中旬に会長エレクト・次年度担当委員長素案（クラブ）
- ⑪ 1月下旬ごろプロジェクト立案のお願いFAX（地区）
- ⑫ 2月下旬ごろ補助金管理セミナー開催

- ① 4月1日～30日、申請書・覚書（MOU）提出（クラブ）
- ② 5月1日～地区委員会で審査、財団に一括申請。
- ③ 7月下旬、財団より地区に補助金の振込み（財団）
- ④ 7月下旬、地区よりクラブに「承認」通知予定。（地区）
- ⑤ 8月上旬地区よりクラブに補助金の振込み（地区）
- ⑥ 8月上旬以降、クラブのプロジェクト実施。（クラブ）
- ⑦ 3月下旬プロジェクト完全終了期限（クラブ）
- ⑧ 4月30最終報告書提出期限・締切（クラブ）
- ⑨ 4月30日地区より財団に最終報告書提出（地区）

ロータリー財団と寄付

1917年、アトランタ国際大会で、アーチ C. クランフ国際ロータリー会長の「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で何か良い事をしようではないか」という提案により作られた基金ですが、6年経っても基金の残高はやっと700ドルに達したに過ぎませんでした。1947年1月27日にポール・ハリスが亡くなると、70カ国以上30万人以上のロータリアンがロータリーの創始者の死を悼みました。そして、寄付が国際ロータリーに相次いで寄せられるようになりました。やがてこの基金がロータリー財団に発展していきました。



スマイルBOXより

ピジター

第2770地区補助金運営委員会 委員長 三枝和男 様（大宮東）
「本日はロータリー財団の卓話でお招き頂き、ありがとうございます。」

メンバー（50音順）

小田光司 菊地 廣 小林利郎 小宮勝男 鈴木 隆
鈴木真樹 関根信行 田中芳明 田畑寛樹 津多一幸
出山知宏 中村 正

🌸 たくさんのご芳志ありがとうございました 🌸

スマイル報告

本日のスマイル合計	16,000円
年間累計額	512,000円

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
24	11	1	3	62.5%